

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 10 日 (2020.9.10)

【公開番号】特開 2019-166054 (P2019-166054A)

【公開日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報 2019-040

【出願番号】特願 2018-56194 (P2018-56194)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 J

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 27 日 (2020.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

メダル投入口と、

前記メダル投入口から投入されたメダルが通過する通路中に設けられ、メダルを検知し得る検知手段 A、検知手段 B、及び検知手段 C（検知手段 B は、検知手段 A より下流側に位置し、検知手段 C は検知手段 B より下流側に位置する）と

を備え、

ベット数が「3」であり、クレジット数が所定値（所定値はクレジット数の上限値未満の値）である状況にて、電源の供給が遮断される事象が発生した時から、当該電源の供給が遮断される事象を検知し、電源断処理を開始する時までの期間の設計値を T 1 とし、

ベット数が「3」であり、クレジット数が所定値（所定値はクレジット数の上限値未満の値）である状況にて、前記メダル投入口からメダルが投入される場合において、当該メダルが検知手段 A により検知される位置に到達した時から、当該メダルが検知手段 B により検知される位置に到達するまでの期間の設計値を T 2 とし、

ベット数が「3」であり、クレジット数が所定値（所定値はクレジット数の上限値未満の値）である状況にて、前記メダル投入口からメダルが投入される場合において、当該メダルを検知手段 B が検知した時から、当該メダルを検知手段 C が検知したあと当該メダルを検知手段 B が検知しなくなり当該メダルを検知手段 C が検知しなくなった時までの期間の設計値を T 3 としたとき、

T 1 < T 2

T 1 < T 3

となっている遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

本発明は、

メダル投入口（４７）と、

前記メダル投入口から投入されたメダルが通過する通路中に設けられ、メダルを検知し得る検知手段Ａ（通路センサ４６）、検知手段Ｂ（投入センサ４４ａ）、及び検知手段Ｃ（投入センサ４４ｂ）（検知手段Ｂは、検知手段Ａより下流側に位置し、検知手段Ｃは検知手段Ｂより下流側に位置する）と

を備え、

ベット数が「３」であり、クレジット数が所定値（所定値はクレジット数の上限値未満の値）である状況にて、電源の供給が遮断される事象が発生した時から、当該電源の供給が遮断される事象を検知し、電源断処理を開始する時までの期間の設計値をＴ１（図５の例２における「Ｔ１」に相当）とし、

ベット数が「３」であり、クレジット数が所定値（所定値はクレジット数の上限値未満の値）である状況にて、前記メダル投入口からメダルが投入される場合において、当該メダルが検知手段Ａにより検知される位置に到達した時から、当該メダルが検知手段Ｂにより検知される位置に到達するまでの期間の設計値をＴ２（当初明細書「００９１」に記載の「Ｔ２」に相当）とし、

ベット数が「３」であり、クレジット数が所定値（所定値はクレジット数の上限値未満の値）である状況にて、前記メダル投入口からメダルが投入される場合において、当該メダルを検知手段Ｂが検知した時から、当該メダルを検知手段Ｃが検知したあと当該メダルを検知手段Ｂが検知しなくなり当該メダルを検知手段Ｃが検知しなくなった時までの期間の設計値をＴ３（図５中、Ｓ２１からＳ２４までの期間に相当）としたとき、

Ｔ１＜Ｔ２

Ｔ１＜Ｔ３

となっている。